



木山校長のきやまるじゃーなる 5月16日号 部活動 ～何のためにやるのか～

全員目標達成の可能性は低いが・・・得るものは大きい

◆5月になりました。1年次生も4月の緊張感は薄れ、学校生活に慣れてきた頃だと思えます。また、多くの生徒が部活動に入部してくれました。中学校と同じ部活動に引き続き入った人、新たな部活動を求めて入った人、それぞれ目的があったと思えます。3年間しっかりがんばってほしいと思えます。また、学校外で何かの活動をしている生徒もいると思えます。同じくがんばってほしいです。



◆ところでインターハイに続く総合体育大会の地区予選が始まりました。特に3年次生は最後の大会になる生徒もおり、加古南での活動の集大成として全力でぶつかろうと準備をしていることと思えます。2年次生にとってはこれまで指導いただいた3年次の先輩と臨む最後の大会になるかも知れません。全員がそれぞれの気持ちで大会に挑み、そして少しでも良い結果を、また少しでも上の大会へ、少しでも長くみんなでがんばりたい・・・そんな気持ちでいることでしょう。



◆しかし、自分の全ての力を出し切る（ベストを出す）試合ができる確率は何パーセントあるのでしょうか。上級大会に出場できるチームや選手は何パーセントいるのでしょうか。実際のところ、全員が各自の目標を達成するのは難しい話だと思えます。じゃあ辞めますか？諦めますか？違うのです。結果ではないのです。それまでの取組が重要なのです。自分の目標に対して、仲間と計画を立て行動し反省し、また新たな計画を立てて実行する、**試行錯誤**

が大切なのです。みなさんの人生は長いので、そういった主体性が今後の人生で生かされるのです。MLBで活躍したイチロー選手は「努力したら報われるって思ってる人は見返りを求めている。これだけやったから必ず報われるはずだ、その見返りを求める姿勢がダメ」と...

◆何度も言っていますが、「変化の激しく予測困難な時代」といわれる世の中でも、みなさんが「たくましく生きていく」ため、今年のキーワード「①絆、②自信、③極み、④魅力」を意識しながら最後まで取り組んでほしいのです。**がんばれ！加古南生！！**

大阪・関西万博開幕 加古川南も全校で参加

55年ぶり大阪での万博、「いのち」「未来」について体験して学ぶ

◆前号でも触れましたが、大阪・関西万博が4月13日、大阪市の「夢洲」で開幕しました。テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」、大規模な万博の国内開催は3回目、大阪での開催は55年ぶりです。各国の英知を結集して世界の将来像を描く展示が見どころ。55年前に展示されたものが実用化され、今や普通に使われているものが多くあります。携帯電話、電気自動車・自転車、リニアモーターカー、電波時計など。55年前にはそれらの技術開発が進んでいたことを示しています。今回の万博でも、空飛ぶクルマ、EVバス等のテクノロジーや、再生可能エネルギーの活用・省エネ建築・リサイクル素材の使用等の環境に優しい技術の導入、また、AIを応用したバーチャルやアート作品もあり、50年先の未来社会がイメージできるかも・・・現地で大屋根リングを見るだけでも感動です！



◆みなさんも「いのち」「未来」について大いに体験して学びましょう。本校は5月28日（水）全校行事として参加します。大阪・関西万博を大いに楽しみましょう！



今後の予定	5/16(金)～22(木)	中間考査
	5/28(水)	大阪・関西万博見学
	6/14(金)	南楠祭

バックナンバーはこちら→<https://www.hyogo-c.ed.jp/~kakominami-hs/newsletter.html>